

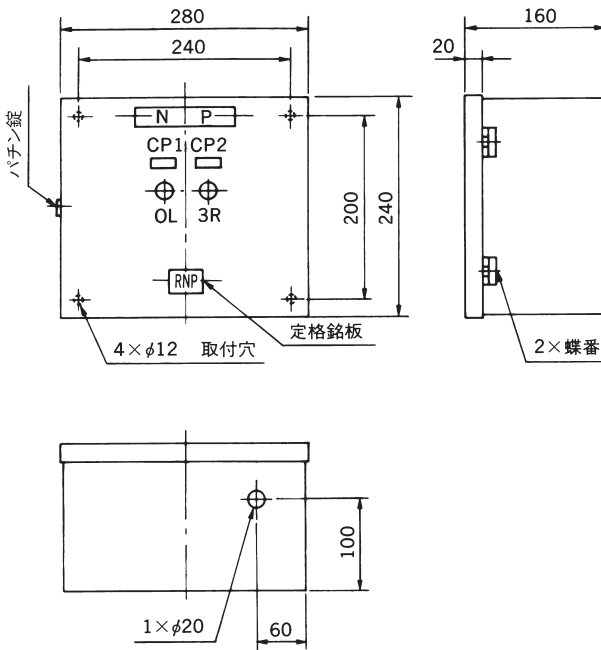
オートチェッカ

消火ポンプ制御盤の他に、自動的に消火ポンプの維持管理をする“オートチェッカ”を用意しています。これは消火ポンプが普段始動することがなく、火災の時には、確実に始動しなければならない

という性格をふまえ、定期的に消火ポンプを始動し、締切圧力をチェックし性能を確認するための装置です。消火ポンプ制御盤（NPM型）と組合せて使用します。

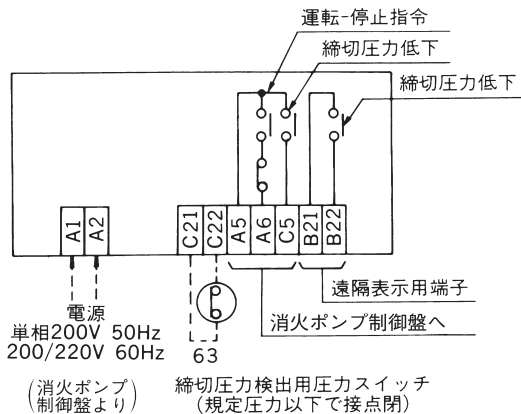
注) EPM 2型制御盤使用機種には、使用できません。EPM2型の場合は特殊仕様〔オートチェッカ回路付〕での対応となり、制御盤内に回路が組込まれます。

■外形寸法図 AC-NPM1型



記号	名称
NP	消火ポンプオートチェッカ
CP1	締切圧力低下
CP2	締切圧力低下リセット
OL	締切圧力低下表示灯
3R	締切圧力警報解除押釦スイッチ
66T	1週間タイムスイッチ
T	タイマ
X	補助リレー
63	圧カスイッチ
F	ヒューズ

■外部結線図



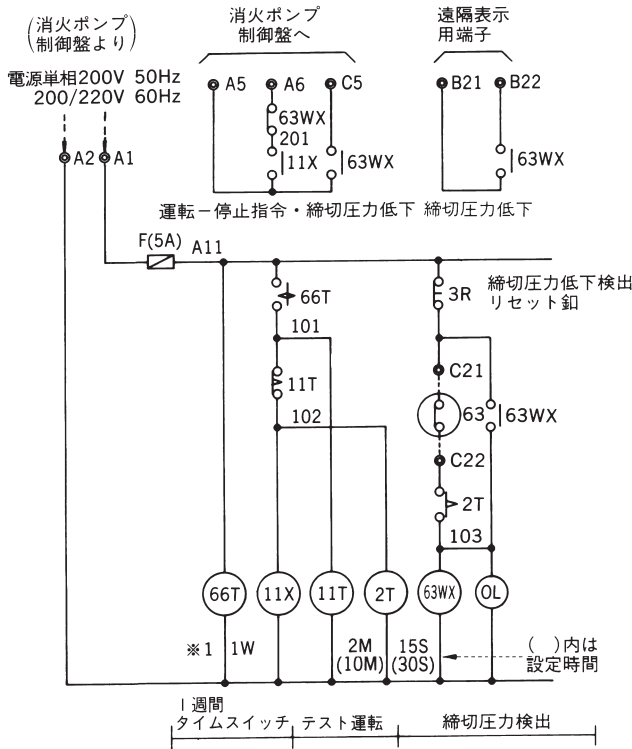
■標準仕様

適用	電動機駆動形消火ポンプ (NPM型制御盤用)
型式	AC-NPM1
電圧	単相 200V 50Hz・200/220V 60Hz
電動機出力	共通
点検周期	1週間に1回
点検時間	2分
構造	銅板製屋内閉鎖壁掛形
塗装色	メラミン焼付塗装・マンセル値5Y7/1相当
設置場所	耐火構造または不燃材で区画され、火災等の災害による被害を受けるおそれのない場所に設置してください。

附属品

オートチェッカ

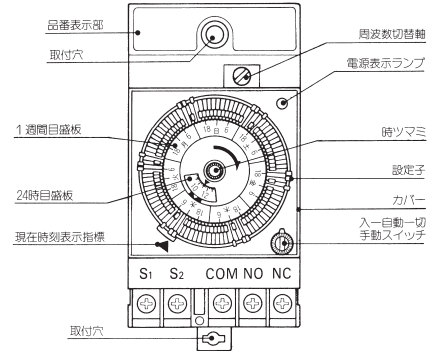
■結線図 AC-NPM1型



※1

1週間タイムスイッチについて

結線図記号	66T
型式	TB164201
停電補償	なし
時間ダイヤル	1週間
最少設定時間間隔	120分
出荷時設定時刻	月曜日午前中



■オートチェッカによる点検運転

- 1週間に1回点検運転を行ないます。
- 点検開始用1週間タイムスイッチ（66T）の設定時間により、ポンプを自動的に始動させタイマ（11T）により2分間運転し点検を行ないます。
- 点検運転中締切圧力が、規定圧力以下の場合には警報（消火ポンプ制御盤）を発生し、締切圧力低下表示灯が点灯し、ポンプを停止させます。
- 圧カスイッチの設定

$$(1) \quad \boxed{\text{圧カスイッチ接点开圧力}} \text{ MPa} = \boxed{\text{ポンプ締切運転時吐出し圧力}} \text{ MPa} - \boxed{0.049\text{MPa}}$$

$$(2) \quad \boxed{\text{圧カスイッチ接点閉圧力}} \text{ (規定圧力) MPa} = (1) - \boxed{\text{圧カスイッチ接点开閉の差圧最小値}} \text{ MPa}$$

例 ●ポンプ締め切り運転時吐出し圧力=0.6MPa

●圧カスイッチ接点开閉の差圧最小値=0.06MPa（PS-3N型）の場合。

(1) 圧カスイッチ接点开圧力=0.6-0.049=0.55MPa

(2) 圧カスイッチ接点閉圧力=0.551-0.06=0.49MPa